

「桜通勤 2017 (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

4月上旬の自転車通勤は、まさに花見をしながらの楽しいものである。今年も「桜通勤」を紹介してみたい。私の自転車通勤経路は、以下ようになる。

*越中島→*門前仲町(大横川)→*永代橋(隅田川)→*日本橋川河畔→*大網町(日清製粉脇)→*日本橋→*日銀脇(江戸桜通り)→*気象庁前→三崎町→*日本橋川・神田川合流点→*小石川後楽園脇→安藤坂→*伝通院前→*播磨坂上→(*教育の森公園を通ることもある)→*跡見学園正門→*作楽(さくら)会館→*桜蔭会館→職場

(*印は、サクラの花を見られる地点)

実に、江戸の街、桜の名所を選んで通勤しているように見えるが、これは桜が咲いていない時期でも、まったく同じ径路である。(帰路は少し異なる)



「大横川の桜」(上; 写真、下; 水彩画)



次に隅田川を永代橋で渡る。隅田川の最下流にあたる場所だが、中央区側の岸に桜が多い。残念ながら、まだ満開には遠いようで、ここは、次回の楽しみにしておこう。



これは、私が住んでいる宿舎の中にある桜。東京の桜は満開になったと発表があったが、この樹を見る限り、まだ三分咲きぐらいに感じる。桜の種類や、日当たり、土質によっても、開花時期は異なるのだろう。この桜は、ちょうど入学式の頃、満開になりそうだ。宿舎には子どもも多いので、入学式の日には、きっと良い記念写真を撮れるだろう。

宿舎を出て数分で、門前仲町の大横川を渡る。この桜も見事で、夜になるとぼんぼりの下、花見の団体が賑わう。また、桜の時期の休日には和船も出て、水上から桜を楽しむことができる。



小網町、茅場町、江戸橋あたりにも、日本橋川沿いに桜の樹は多い。そして日本橋にさしかかる。「日本道路原標」があり、国道1号線、4号線、6号線、14号線、15号線、17号線、20号線の7つもの主要国道の始点となっている。ここの桜も見事なのだが、もう少しだった。日本橋から川を流れる「花いかだ」も美しい。それも楽しみである。